

令和5年度 施策評価シート

基本目標	V	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	540	多様な主体が参加する区政のしくみをつくる
施策	542	区政への参加を広め、公正・公平で効率的な行財政運営を推進する
施策の目標	区民や事業者は、協治(ガバナンス)によるまちづくりの主体として積極的に区政に参画し、地域の課題解決に取り組んでいます。区は、新たな課題に対応するため行政のスリム化並びに「選択と集中」により、一層の効率的な行財政運営を進めています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「区と一緒に、区の事業やイベントなどを企画したり、実施したことがある」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					20.0%					30.0%
実績	9.5%				7.0%					

指標名	区政全般に対する区民の満足度の点数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					65.0点					70.0点
実績	57.4点				63.5点					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
限られた財源を有効に活用し、真に必要な公共サービスを将来にわたり区民に提供し続けるため、長期的・経営的な視点をもって、公共施設(建物)を計画的にマネジメントしていく必要がある。	R2	141,069
	R3	154,514
	R4	150,475

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
A	公平・公正で効率的な行財政運営に「公共施設マネジメント」の推進は不可欠であり、寄与しつつある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
公平・公正で、効率的な行財政運営を進めていくためには、公共施設マネジメントをより一層推進していくことが必要である。	
【今後の具体的な方針】	
第3次墨田区公共施設マネジメント実行計画に基づき、区民の貴重な資産である公共施設を効果的・効率的に有効活用し、その費用対効果を最大化するため、さらなる公共施設マネジメントの取組を進めていく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	公共施設マネジメントの推進	135,589	14,886	150,475	0.2	現状維持
					0.4	令和4年度
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

令和5年度 事務事業評価シート

施策	542	区政への参加を広め、公正・公平で効率的な行財政運営を推進する	部内優先順位
事業名	公共施設マネジメントの推進		1
目的	約300ある区の公共施設のうち、築後30年超となる施設が約6割を超え、今後一斉に老朽化等による大規模修繕や更新の時期を迎える。限られた財源を有効に活用し、真に必要なサービスの提供をし続けるためには、公共施設マネジメントの推進により将来の財政負担の軽減を図る必要がある。		主管課・係(担当)
			公共施設マネジメント推進課 計画担当 03-5608-6286
対象者	すべての区民(公共施設を利用する・しないに係わらない)		
根拠法令 関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・墨田区公共施設白書(平成25年5月) ・第1次墨田区公共施設マネジメント実行計画(平成26年7月) ・墨田区公共施設等総合管理計画(平成28年3月) ・公共施設(建物)長期修繕計画(平成28年3月) ・第2次墨田区公共施設マネジメント実行計画(平成28年6月) ・第3次墨田区公共施設マネジメント実行計画(令和4年3月)ほか 		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 (株)山下テクノス、明豊ファシリティワークス(株)、(株)日積サーベイ
事業内容	墨田区公共施設等総合管理計画及び第3次墨田区公共施設マネジメント実行計画に基づき、長期的・経営的な視点を持って、当該実行計画の取組方針である維持管理の適正化、民間活力の活用、計画的な予防保全による施設の長寿命化の推進、施設保有総量の圧縮、新たな行政需要に対応するための施設再編という5つの基本方針の取組を推進していく。		
経過	開始年度		終了予定
	<p>平成19年度 墨田区公共施設計画的保全システムの運用開始</p> <p>平成25年度 墨田区公共施設白書の策定</p> <p>平成26年度 第1次墨田区公共施設マネジメント実行計画(～平成27年度)の策定</p> <p>平成27年度 墨田区公共施設等総合管理計画(～令和7年度)の策定 公共施設(建物)長期修繕計画の策定</p> <p>平成28年度 第2次墨田区公共施設マネジメント実行計画(～令和3年度)の策定</p> <p>平成29年度 墨田区PPP/PFI手法導入優先的検討指針の策定</p> <p>令和3年度 第3次墨田区公共施設マネジメント実行計画(～令和7年度)の策定</p> <p>《例年》 主要な公共施設に係るコスト計算書(事業別コスト計算書)の作成</p>		
議会質問 の状況	<p>【令和4年度11月議会】今後の多額の改修経費が予想される施設の長期修繕に係る経費について</p> <p>【令和4年度2月議会】公共施設マネジメントの抜本的見直しについて</p> <p>【令和4年度2月議会】公共施設の大規模修繕について(すみだトリフォニーホール)</p>		
その他 特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)	104,183	143,852	127,483	138,946	135,692	135,899
A.決算額(令和5年度は見込み)	104,183	143,785	127,483	138,946	135,589	135,899
財源	国					
	都					
	その他					
一般財源	104,183	143,785	127,483	138,946	135,589	135,899
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%
B.人コスト		15,641	13,586	15,568	14,886	
総事業決算額(A+B)		104,183	159,426	141,069	154,514	
予算書P(令和5年度)	84		執行実績報告書P(令和4年度)		23	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	公共施設（建物・構築物）に係る工事等維持費（保守費）	79,431	委託料	公共施設（建物・構築物）に係る工事等維持費（保守費）	82,684	委託料	公共施設（建物・構築物）に係る工事等維持費（保守費）	82,784
委託料	定期点検その他調査業務委託	11,770	委託料	定期点検その他調査業務委託	11,770	委託料	定期点検その他調査業務委託	11,770
委託料	保全システム保守委託	3,850	委託料	保全システム保守委託	5,698	委託料	保全システム保守委託	6,017
委託料	新保健施設CM委託	43,230	委託料	新保健施設CM委託	34,760	委託料	新保健施設CM委託	34,650
使用料及び賃借料	保全システムサービース	665	使用料及び賃借料	保全システムサービース	677	使用料及び賃借料	保全システムサービース	678

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	第3次公共施設マネジメント実行計画終了時における施設保有総量の削減目標				単 位	%		
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1		
		10.0	7	目標						
				実績	6.8	8.4	8.4	7.5		
					R2	R3	R4	R5	R6	R7
				目標					10.0	
			実績	8.4	9.2	8.7				
	指標の選定理由及び目標値の理由									
	平成26年7月に策定した「墨田区公共施設マネジメント実行計画」時点の面積を基準として、施設保有総量の削減目標を15%に設定している。期限を設定しているわけではないが、当面のところ、第3次公共施設マネジメント実行計画の取組期間である令和7年度までに、10%削減できるよう取り組んでいく。									
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	施設を利用しなかった理由（住民意識調査）のうち「建物や設備が古い」を選択した割合				単 位	%		
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1			
0.0		7	目標	0.4		0.3				
			実績	0.4		0.4				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	
			目標	0.3		0.2		0.1		
		実績	0.3		0.4					
指標の選定理由及び目標値の理由										
計画的な予防保全等による修繕を実施し、効率的に施設を運営していくにあたり、「施設ニーズはあるが老朽化のため利用されていない」という状況は、限りなくゼロにする必要がある。										

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	施設の大規模修繕や統廃合の実施には一定期間を要するが、持続可能な施設運営を行っていくために、引き続き公共施設のマネジメントに取り組んでいく必要がある。

課題・問題点
<p>【公共施設マネジメントの必要性について】</p> <p>公共施設の老朽化は全国的な課題であり、墨田区が保有する施設についても、約6割が築30年を超えているなど、老朽化が進んでいるが、公共施設の維持管理や大規模修繕には多額の経費がかかるため、今ある施設をすべて維持し続けることは、区の財政運営上困難である。そのため、公共施設マネジメントの必要性について、区民の方々はもとより、区職員に対しても理解を深めていく必要がある。</p>